

I R R E P O R T

2007年3月期
事業報告書

2006年4月1日～
2007年3月31日

シンプル、だから安心。

シンプル、だから先進。

株式会社 朝日ネット

証券コード:3834

<http://asahi-net.jp/>

President message



株主の皆さまへ

株主の皆様には、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。
株式会社朝日ネットは、おかげさまで2006年12月に東京証券取引市場第二部に上場いたしました。これも、ひとえに株主様、会員様をはじめ、関係各位のご支援、ご協力の賜物と心から感謝申し上げます。

わが国のインターネット・サービス・プロバイダー業界におきましては、ブロードバンド化が急速に進んでおり、特にFTTH（光接続）契約者数が、前年比170%以上と高い成長を続けております。（総務省調査による）

このような外部環境の中で、上場後初めての決算となりました2007年3月期は、過去最高の売上高を達成し、計画以上の利益を計上することができました。また、利益率におきましても、営業利益率23.9%という高い水準を維持することができました。

なお、配当につきましては、1株当たり8円（配当性向33.3%）とさせていただきます。これからも、株主様への利益還元策として配当政策を重視していく所存でございます。

当社の特長である、高い顧客満足度や技術力を活かし、インターネット接続事業を安定的に成長させていくとともに、長期的に高い成長が期待できるWeb2.0系サービスを展開することで、強固な事業ポートフォリオを構築し、企業価値を継続的に高めてまいります。

今後も株主の皆様方のご期待にお応えすべく、「交流と創造」の理念のもと、より付加価値の高いサービスの提供を目指し努力して参る所存でございます。

なお一層のご指導、ご鞭撻を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

株式会社 朝日ネット
代表取締役社長 山本 公哉

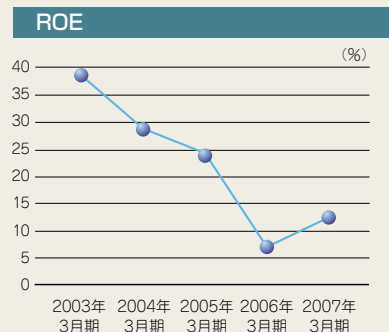
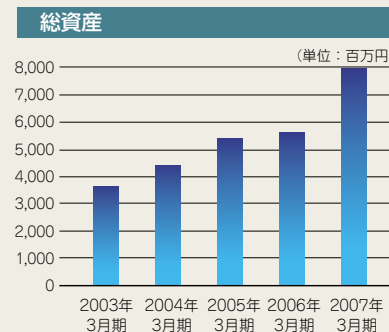
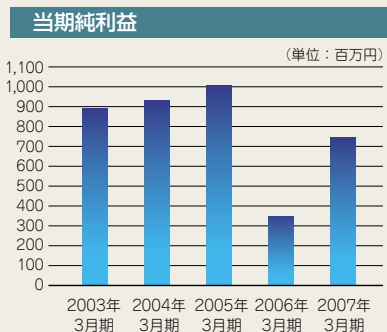
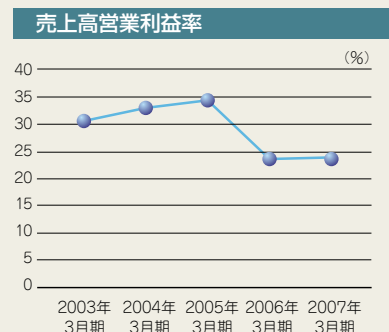
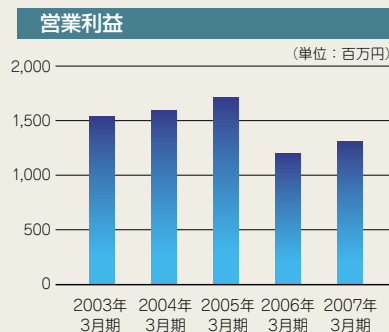
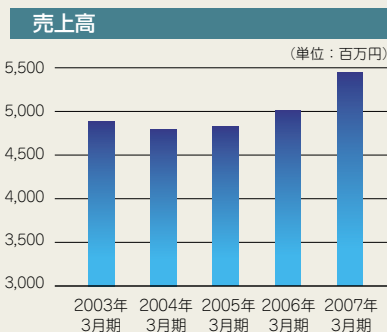
Contents

株主の皆さまへ	1
財務ハイライト	2
事業概要	3
朝日ネットの成長戦略	5
営業概況	7
財務データ	9
株式データ/会社概要	10

朝日ネットは、創業以来17期連続で黒字を計上し、その平均営業利益率は22%と高い水準を維持しております。今後も、安定継続的な利益成長を続けてまいります。

(単体ベース/単位：百万円)

	2003年3月期	2004年3月期	2005年3月期	2006年3月期	2007年3月期
売上高	4,903	4,845	4,880	5,018	5,476
営業利益	1,532	1,594	1,702	1,200	1,307
経常利益	1,536	1,596	1,713	1,201	1,271
当期純利益	892	930	1,006	346	744
総資産	3,614	4,272	5,380	5,665	7,968
純資産	2,774	3,701	4,705	5,297	6,907
ROE (%)	38.3	28.7	24.0	6.9	12.2



当社は「ASAHIネット」のブランド名称で、「交流と創造」の理念に基づき、インターネット接続サービスやインターネット関連サービスを自社開発を中心とした基幹システムで提供しております。

インターネット接続サービス

FTTH

光ファイバーを利用した最大100Mbpsのブロードバンド接続サービス

ADSL

電話回線を利用した最大50Mbpsのブロードバンド接続サービス

モバイル接続

移動通信帯を利用した接続サービス

フレッツISDN接続、ダイヤルアップ接続

ISDN回線、電話回線を利用した接続サービス



ASAHIネットのイメージキャラクター
五嶋 龍

インターネット関連サービス



アサプロ

ASAHIネット個人会員のお客様に無料でご提供するブログサービスです。アサプロはホームページの作成や更新を手軽に行うことができます。



マナバ

大学・短期大学などの教育機関向けSNS (Social Networking Service) です。LMS / コースツールと呼ばれている教育支援ソフトの機能を搭載しています。



モンブラン

複数の営業拠点や店舗を運営する企業向けに設計された、ホームページ作成ツールです。本社と各拠点がコミュニケーションを取りながら情報の更新が簡単にできます。



アサワン

メンバー間でスケジュールを共有するスケジューラ機能、会議室予約機能、掲示板機能、データ共有機能などが可能な、オンライングループウェアです。



セキュアホスティング

専用サーバー並の環境を安価に利用でき、専用サーバーと同等の機能をリーズナブルな価格でご利用いただくことができるサービスです。



ASAHIネットTV

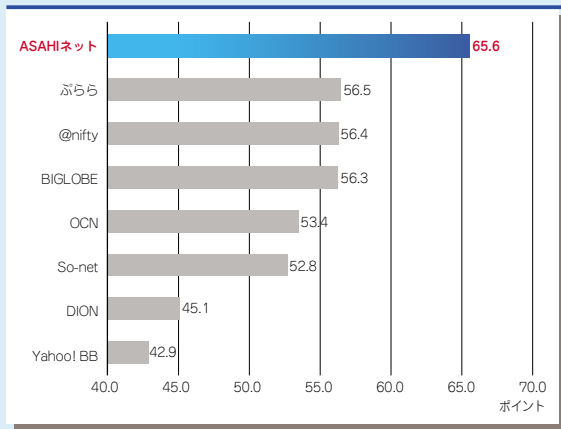
ブロードバンド回線を通じて、ご自宅のテレビでお好きな時間にお好みのビデオ作品 (VOD) や専門チャンネルをお楽しみいただけるサービスです。

プロバイダランキング 総合1位

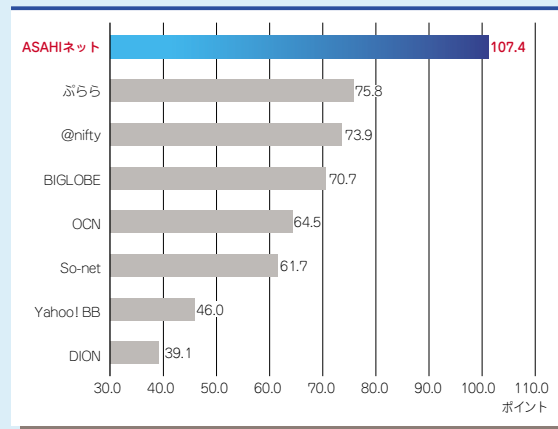
ASAHIネットは、日経マーケット・アクセス調査の「家庭のインターネット環境利用実態調査」において、9期連続で「プロバイダランキング総合1位」の評価を得ております。



プロバイダランキング

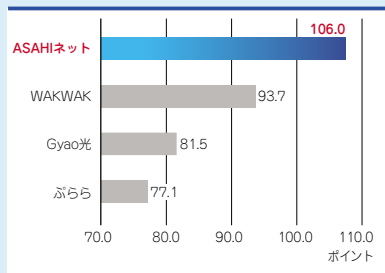


プロバイダ推奨度

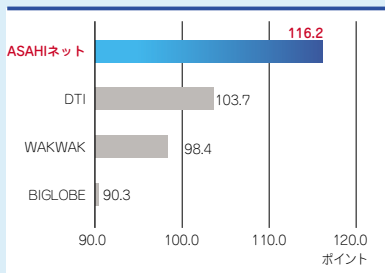


いま利用しているプロバイダを他人に薦められるかどうかを示す指標

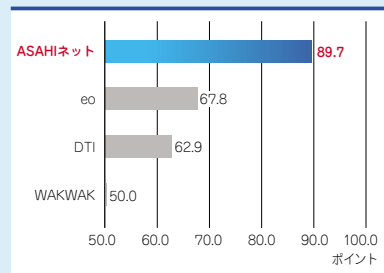
「接続料金」満足度



「回線の安定性」満足度



「回線の速度」満足度



日経マーケット・アクセス「家庭のインターネット環境利用実態調査2006年下期」より抜粋



高収益と顧客満足度No.1を達成

—安定成長を続けるインターネット接続事業—

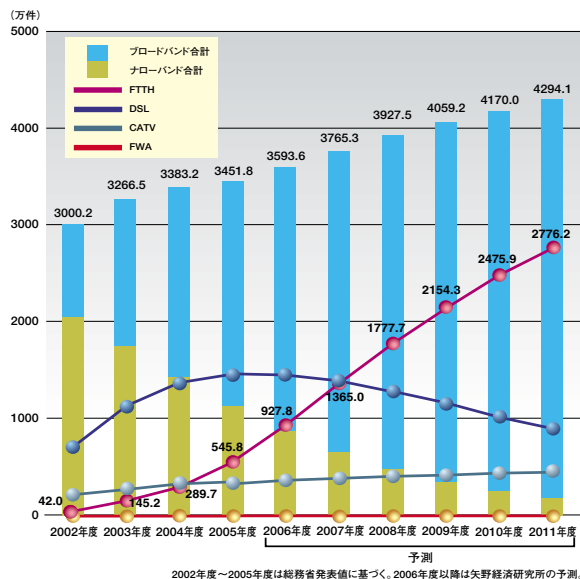
わが国のインターネット接続事業は、ブロードバンド契約数の増加により、継続的な安定成長を遂げています。なかでも、FTTH（光接続）契約数は、2006年12月末で794万人に達し、前年同月比171%と高い成長性をしめしております。（総務省の調査による）

このような事業環境の中で、当社は先進的で高品質なインターネット接続サービスを適切な価格で安定的に提供しております。2006年12月末には、前年同月比174%とマーケット全体の伸び率を上回ることができました。

近年、NTTグループやKDDIの回線と接続サービスをプロバイダーが一括して提供し、料金を請求するワンストップサービスが主流になっております。

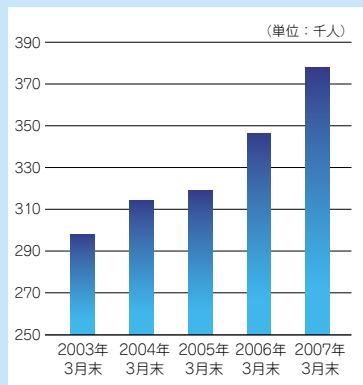
当社は、ワンストップサービスを提供できる数少ないプロバイダーとして、今後もFTTH（光接続）サービスの売上増を図り、持続的な利益成長を実現してまいります。

国内のインターネット接続 回線種別普及予測



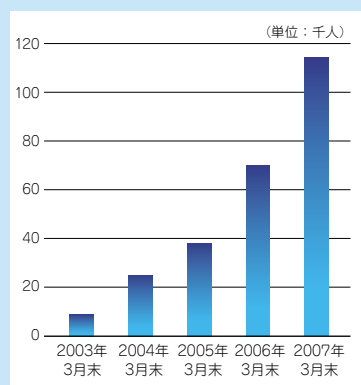
会員数の推移

FTTH（光接続）の伸びが全体を牽引



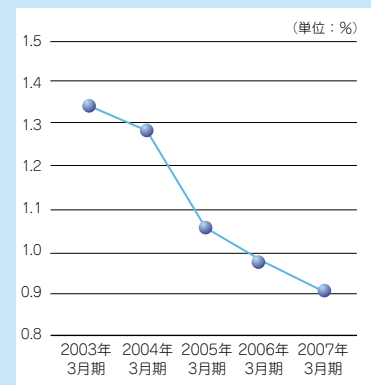
FTTH（光接続）会員の推移

マーケット全体を上回る成長



退会率の推移

年々低下する退会率



高成長

教育機関向けSNS「マナバ^(*)」

シンプル・かんたん・そして安心

学生と教員をつなぐネット上の新たな“学びの場”、「マナバ」を2007年2月に販売開始。「マナバ」は、大学・短期大学などの教育機関における学生と教員との情報伝達をサポートするSNS^(*)です。新しい学習支援ソフトとしてウェブブラウザから簡単に使えます。

シンプル

シンプルだから先進。

教育現場の声をもとに、使いやすく、便利な機能を搭載。マナバは扱いやすさを追求して、大学から塾まで、あらゆるニーズに対応しています。

かんたん

入力が簡単。

使い慣れたソフトと併用することで、新たに使い方を覚える必要はありません。

安心

ISPの得意技。

個人情報を守ることを最重要課題としてセキュリティ対策とユーザーのアクセス管理に注力しました。

商品の詳細は <http://manaba.jp>



教員と学生は、マナバにアクセスすることで、資料やレポートの受け渡し、ディスカッションを行います。



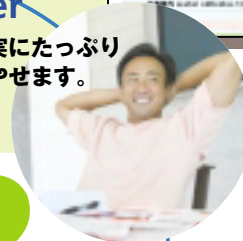
Student

いつでもどこでもアクセスできる。



Teacher

講義の充実にたっぷり時間を費やせます。



マナバでは、講義ごとにコミュニティが作成・運営されます。

manaba

Staff

シンプルに徹した管理方法。



*1 「マナバ (manaba)」という名称は、「学び (manabi)」の「場 (ba)」であるというイメージをもとに考えられた造語です。

*2 SNS ソーシャル・ネットワーキング・サービス (英語: Social Networking Service, SNS)

当事業年度におけるわが国経済は、少子高齢化、素材・エネルギー価格の高騰等による不安定要因を抱えつつも、企業収益の改善に伴う設備投資は引き続き増加基調にあり、景気は持続的に回復してまいりました。

ISP（インターネット・サービス・プロバイダー）業界におきましては、インターネット接続のブロードバンド化がより一層すすみ、とりわけFTTH（光ファイバー）接続の利用者が拡大しました。

このような状況のもと、ASAHIネットの会員数は当事業年度末で378千人（前期比9.2%増）となり、そのうちブロードバンド会員数は217千人（前期比22.3%増）、ブロードバンド会員比率は57.6%（前期比6.2ポイント増）となりました。なかでもFTTH接続会員数は114千人（前期比62.6%増）となり、ブロードバンドに占めるFTTH接続会員の比率が13.0ポイント上昇いたしました。また、ナローバンドからブロードバンドまでを含めた全回線における平均退会率は0.91%（前期比0.07ポイント減）となりました。

また、FTTHの急速な普及に伴う通信量の増加によるコスト増が懸念されておりますが、当社は独自のネットワークシステムを自社で開発・運営することで顧客満足度を高めるとともに、通信コストの圧縮を図り、売上高営業利益率が23.9%と高い収益性を維持しております。

インターネット接続サービス

インターネット接続サービスにおきましては、新たな接続サービスとして低価格ADSL接続サービス「超割ADSLコース」、

KDDI株式会社と提携したFTTH接続サービス「ASAHIネットひかりone」を順次リリースし、商品ラインナップの拡充をしてまいりました。特に「超割ADSLコース」は、月額利用料金を1,871円（税込み）と回線速度が12Mbpsと高速にも関わらず業界最安値に設定し、ナローバンドからの乗り換え需要に対応する商品として提供いたしました。これにより、ブロードバンドにおける高価格帯のFTTHと低価格帯のADSLとの利用料金の2極化が顕在化しましたが、当社は、そのいずれにおいてもプライスリーダーの役割を担っております。

インターネット関連サービス

インターネット関連サービスにおきましては、多チャンネル放送とビデオオンデマンドの視聴が可能な映像サービス「ASAHIネットTV」、ホスティングサービス「セキュアホスティング」のリリースのほか、Web2.0系サービスとして教育機関向けSNSツール「マナバ」並びに多店舗事業向けホームページ作成ツールであるビジネス・ブログ・システム「モンブラン」の開発・販売を開始いたしました。

以上の結果、当事業年度における売上高は5,476百万円（前期比9.1%増）と過去最高を達成いたしました。営業利益は1,307百万円（前期比8.9%増）、経常利益は1,271百万円（前期比5.9%増）となり、税金費用を差引いた当期純利益は744百万円（前期比114.6%増）となりました。

期末配当金については、1株当たり8円とさせていただきます。

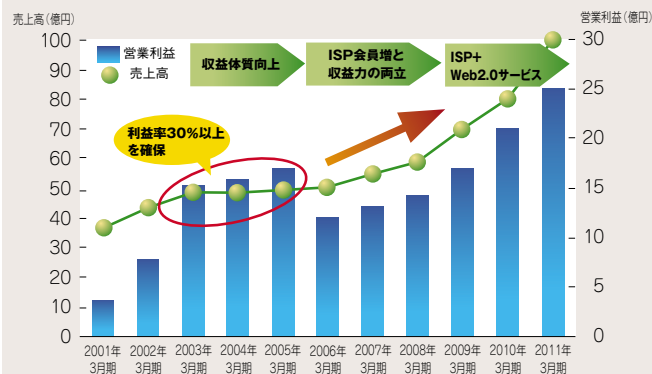
今期の見通し

2008年3月期見通しにつきましては、引き続きFTTH接続会員の増加が見込まれ、売上高5,940百万円（前期比8.5%増）、営業利益1,430百万円（前期比9.4%増）、経常利益1,420百万円（前期比11.6%増）、当期純利益820百万円（前期比10.2%増）と、増収増益を見込んでおります。

当社は、株主に対する利益還元を重要な経営課題の一つとして認識しており、将来の事業展開と経営体質の強化のために必要な内部留保を確保しつつ、安定した配当を継続して実施していくことを基本方針としております。

2008年3月期の配当予想につきましては、前年より2円増額し、1株当たり10円を計画しております。

中期的利益成長のイメージ



経営の基本方針

1 「最大」ではなく「最適」を目指す

→ 持続的会員増と高収益の両立

2 会員制ビジネスに徹する

→ 高い経営予測性と安定性

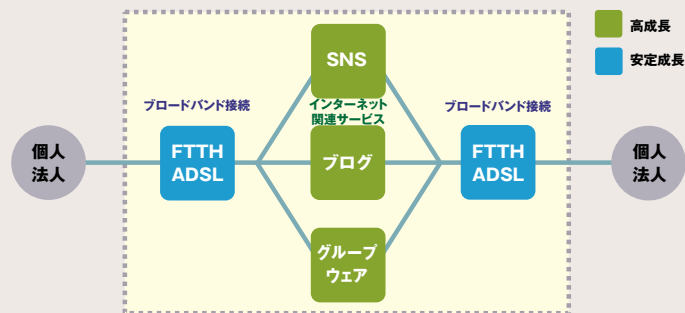
3 「顧客推奨度」重視

→ 会員獲得コストの低減

4 Web2.0系サービスの本格展開

→ 第2の成長エンジン

事業ポートフォリオ



貸借対照表 (要旨)

(単位: 百万円)

科目	2006年3月期 2006年3月31日現在	2007年3月期 2007年3月31日現在
資産の部		
流動資産	5,303	7,531
現金及び預金	4,540	6,498
売掛金	609	920
未収還付法人税等	125	-
その他	27	112
固定資産	361	436
有形固定資産	201	258
無形固定資産	25	34
投資その他資産	135	144
資産合計	5,665	7,968
負債の部		
流動負債	367	1,060
買掛金	124	123
未払引当金	168	301
販売促進引当金	48	109
未払法人税等	8	489
その他	17	36
負債合計	367	1,060
資本の部		
資本金	152	-
資本剰余金	303	-
利益剰余金合計	4,841	-
資本合計	5,297	-
負債資本合計	5,665	-
純資産の部		
資本金	-	630
資本剰余金合計	-	780
利益剰余金合計	-	5,496
株主資本合計	-	6,907
純資産合計	-	6,907
負債純資産合計	-	7,968

損益計算書 (要旨)

(単位: 百万円)

科目	2006年3月期 2005年4月1日～ 2006年3月31日	2007年3月期 2006年4月1日～ 2007年3月31日
売上高	5,018	5,476
売上原価	2,648	2,925
売上総利益	2,370	2,551
販売費及び一般管理費	1,170	1,243
営業利益	1,200	1,307
営業外収益	3	8
営業外費用	2	43
経常利益	1,201	1,271
特別損失	599	8
税引前当期純利益	601	1,263
法人税、住民税及び事業税	227	595
法人税等調整額	27	△76
当期純利益	346	744
前期繰越利益	4,489	-
当期未処分利益	4,835	-

キャッシュフロー計算書 (要旨)

(単位: 百万円)

科目	2007年3月期 2006年4月1日～ 2007年3月31日
営業活動によるキャッシュフロー	1,340
税引前当期純利益	1,263
減価償却費	161
売上債権の増加額	△311
市場準備費用	40
仕入債務の増加額	94
法人税等の還付額	125
法人税等の支払額	△113
投資活動によるキャッシュフロー	△204
財務活動によるキャッシュフロー	821
配当金の支払額	△89
株式の発行による収入	951
現金及び現金同等物の増加額	1,957
現金及び現金同等物の期首残高	4,540
現金及び現金同等物の期末残高	6,498

株主資本等変動計算書

(単位: 百万円)

科目	資本金	株主資本				自己株式	株主資本合計	純資産合計	
		資本剰余金		利益剰余金					
		資本準備金	資本剰余金合計	利益準備金	その他利益剰余金 繰越利益剰余金	利益剰余金合計			
2006年3月31日残高	152	303	303	5	4,835	4,841	-	5,297	5,297
事業年度中の変動額									
新株の発行	477	477	477	-	-	-	-	955	955
剰余金の配当	-	-	-	-	△89	△89	-	△89	△89
当期純利益	-	-	-	-	744	744	-	744	744
自己株式の取得	-	-	-	-	-	-	-	-	-
事業年度中の変動額合計	477	477	477	-	654	654	-	1,610	1,610
2007年3月31日残高	630	780	780	5	5,490	5,496	-	6,907	6,907

株式データ (2007年3月31日現在)

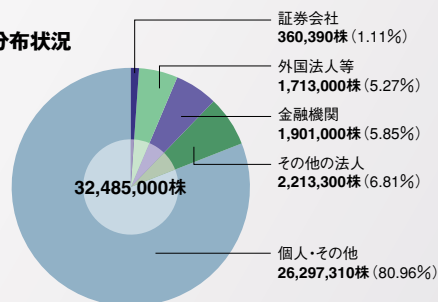
株式の状況

発行済株式数 32,485,000株
株主数 2,448名

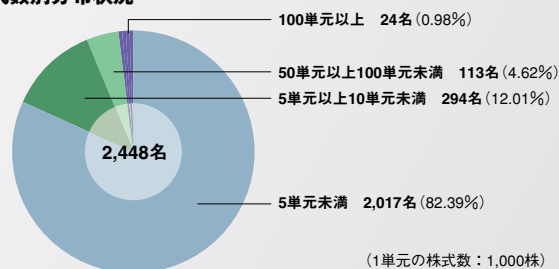
大株主 (上位10名)

株主名	持ち株数(株)	持ち株比率(%)
島戸 一臣	3,655,000	11.25
山本 公哉	3,100,000	9.54
梅村 守	3,100,000	9.54
滝口 彰	3,100,000	9.54
岩崎 慎一	3,100,000	9.54
杉山 裕一	3,100,000	9.54
(株)シマドコーポレーション	1,000,000	3.07
東日本電信電話(株)	950,000	2.92
日本マスタートラスト信託銀行(株)(信託口)	911,000	2.80
日本トラスティ・サービス信託銀行(株)(信託口)	607,000	1.86

株主別分布状況



所有株式数別分布状況



会社概要 (2007年6月25日現在)

社名 株式会社朝日ネット(ASAHI Net, Inc.)
資本金 6億3,048万円
設立 1990年4月2日
所在地 〒104-0061
 東京都中央区銀座6-6-7 朝日ビル
 TEL : 03-3569-3511 FAX : 03-3569-3501
業務内容
 ・インターネット接続サービス
 「ASAHIネット」を主催・運営
 ・コンピュータ・システムの企画、
 開発、運用に関するコンサルティング
 ・各種物販
役員
 代表取締役社長 山本 公哉
 代表取締役副社長 梅村 守
 代表取締役副社長 滝口 彰
 取締役 溝上 聡司
 監査役 小林 三千夫
 監査役 今西 浩之
 監査役 井原 智生

沿革

- 1990年 4月 ・株式会社アトソン
(現在の株式会社朝日ネット) 設立
(朝日新聞社のパソコン通信サービスを継承)
- 1994年 6月 ・ASAHIネットブランドによる
インターネット接続サービス開始
- 2000年 3月 ・全株式を役員・社員が取得し、
独立系通信事業者となる
- 2001年 8月 ・光接続サービス開始
- 2005年 3月 ・ASP型グループウェア「アサワン」を販売開始
・会員向けブログ「アサブロ」を提供開始
- 2006年 4月 ・光によるトリプルプレー
(接続十電話十ASAHIネットTV) 完成
- 6月 ・仮想専用サーバー
「セキュアホスティング」を販売開始
- 8月 ・NTT東日本へ第三者割当増資を実施
- 12月 ・東京証券取引所市場第二部上場
- 2007年 2月 ・教育機関向けSNS「manaバ」を販売開始
- 3月 ・ビジネス・ブログ・システム「モンブラン」を
販売開始

Shareholder Information

株主メモ（株主のご案内）

- 証券コード 3834
- 証券取引所 東京証券取引所 市場第二部
- 決算期 3月31日
- 定時株主総会 毎事業年度終了後3カ月以内
- 基準日 3月31日
- 1単元の株式数 1,000株
- 中間配当基準日 9月30日
- 公告掲載方法 電子公告
ただし、電子公告によることができない事故その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞社に掲載します。
なお、電子公告は当社ホームページに掲載しており、そのアドレスは以下のとおりです。
<http://asahi-net.jp/ir/>
- 株主名簿管理人 東京都千代田区丸の内一丁目4番5号
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
- 同事務取扱場所 東京都千代田区丸の内一丁目4番5号
三菱UFJ信託銀行株式会社
- 同取次所 三菱UFJ信託銀行株式会社 全国各支店

株式会社 朝日ネット

〒104-0061

東京都中央区銀座 6-6-7 朝日ビル

TEL:03-3569-3511 FAX:03-3569-3512

<http://asahi-net.jp/>